

平成25年度第1回 札幌市国民健康保険運営協議会の概要

1 日 時

平成25年(2013年)6月24日(月曜日)午後6時～午後7時32分

2 場 所

札幌市役所 6階 1号会議室

3 出 席 者

(1) 運営協議会委員

別添のとおり

(2) 事務局

保険医療部長、保険企画課長、保険事業担当課長、国保健康推進担当課長他

4 審議事項

議案第1号 平成25年度医療費適正化計画について

ア 説明の要旨(前半は医療費等の状況、後半は具体的な取り組み)

医療費の状況

- ・札幌市の一人当たり医療費は34万1千円となっており政令市で4番目。
- ・総医療費に占める高額医療費、入院医療費の割合はそれぞれ9.5%、41.4%と政令市で1番高い。
- ・特定健診、特定保健指導の受診率は、平成23年度それぞれ19.7%、7.6%と低迷しているが平成29年度で35%、20%の目標を掲げている。
- ・ジェネリック医薬品の使用状況は、平成24年度は国の目標数値30%以上に届く状況。

新たな取り組み

- ・効果的に適正化事業を行うために高医療費の要因、疾病構造の特徴についてレセプト情報等を活用して詳細に分析していく。
- ・平成25年3月に、ジェネリック医薬品使用促進のための「差額通知」を初めて送付。
- ・町内会などの地域の団体と連携し特定健診・特定保健指導の実施率を向上させる。

イ 主な質疑

Q. 医療費通知の効果を検証したことがあるか？

A. 効果検証まではしていないが、本人の健康状態を自分で理解をする主目

的の他、医療機関の請求を確認する副次的な要素もある。

Q. 保険証はいつカード化になるのか？

A. 現在電算システムの見直しをしており、あと数年はかかる見込み。それにあわせて検討している。

5 報 告 事 項

報告第1号 平成25年度収納対策基本方針について

ア 説明の要旨

- ・平成24年度の現年度一般分の収納率は、当初目標の89.55%を上回る89.95%に達する見込みである。
- ・平成25年度は、平成24年度の収納率から0.4ポイント上回る90.35%を目標とする。
- ・「折衝機会の確保」「財産調査の徹底」「滞納処分の強化」「口座振替加入の促進」という4つの重点項目として地道な取り組みを着実にやっていく。

イ 主な質疑

Q. 収納は非常によくやっており、普通の人にはわからない本当に大変な苦勞をされていると思う。動機づけのため、ご苦勞さん手当のようなものを払ってもいいのではないかと思うが、どうか？

A. ありがとうございます。職員の給与は条例で決まっております、市長の裁量ではなかなか難しい。また、札幌市の職員の働き方の文化として、仕事で上げた成果をお給料でというよりも仕事で報いるという文化があるので、そういう形で職員は一生懸命やっているのだらうと思っている。

Q. コンビニの納付を一度検討されてはどうか？

A. 保険サービス員が100名おり、コンビニに負けず劣らずのサービスを図っている自負はある。ただ一層のサービスアップということを踏まえると、コンビニについても調査研究をしていきたい。

【担当：保）保険企画課 村上（内2944）】